

# 《祈る》 —長田弘の詩とヴォカリーズによる—

三宅悠太 作曲  
Yuta MIYAKE (2011/2012)

## 空の下 (詩／長田弘)

黙る。そして、静けさを集める。  
こここの籠を、静けさでいっぱいにする。  
そうやって、時間をきれいにする。  
独りでいることができなくてはできない。  
静けさのなかには、ひとの  
語ることでない意味がある。  
言葉をもたないものが語る言葉がある。  
独りでいることができなくてはいけない。  
草の実が語る。樫の木の幹が語る。  
曲がってゆく小道が語る。  
真昼の影が語る。ジョウビタキが語る。  
独りでいることができなくてはいけない。  
時間の速度をゆっくりにするのだ。  
考えるとは、ゆっくりした時間を  
いま、ここにつくりだすということだ。  
独りでいることができなくてはできない。  
空の青さが語る。賢いクモが語る。  
記憶が語る。懐かしい死者たちが語る。  
何者もけつして無くなってしまわない。  
独りでいることができなくてはいけない。  
この世はうつくしいと言えないかもしれない。  
幼いときは、しかしわからなかった。  
この世には、独りでいることができて、  
はじめてできることがある。ひとは  
祈ることができるのだ。

(曲中では、作曲に際し詩の一部が省略されています)

## I. Choral

♩=52ca.

(tutti) ※1 *mf* *f*  
(s+f) (ha) (s+f) (ha)  
*lontano* *ppp!*  
Ad. ....(until 15)



tutti *f*  
div. a2 (s+f) (ha)  
(s+f) (ha)  
*pp sosten.* *poco*

※1: 吸気音を、指定された無声音(子音)と共に出す。  
※2: 呼気音を、指定された無声音(子音)と共に出す。

8 (female) div. a3

*simile* *f* *f* *f*

(male) div. a3

*simile* *f* *f* *f*

*pp* *p* *espr.* *mp*



11

*f* *più f* *meno f* *f* *più f* *meno f* *pp cresc. poco a poco* *mfpp cresc. poco a poco* *ppp! (estinto) cresc. poco a poco*

※3 M

8va *p* *pp* *f* *p* *p!* *f!*

※3：最低音もしくは任意の低音（パート内で個々に）。

14

*ff* *ff* *fff!* *riten. molto - - - - -* *(mp) molto!*

*ff* *pp* *mf* *f*

*molto!* *ff* *(p) molto!*

*pp* *mf* *p* *smorz.*

*molto!* *ff*

*molto!* *ff*

*gva* *dolce!* *\*very hard tone!*

*sf* *pp* *fff!*

----- \*



※4 : [A]~[E]の部分では、休符が置かれているところを除き、  
適宜カンニングブレスを用いてフレーズを続けて歌うのが望ましい。

※4 [A] *sostenuto* ♩ = 48~54 (flexibly)

18

*ff - mf* *(smorz.)* *div. a2* *sempre legato e cantabile* *p* *mp - p*

*ff - mf* *(smorz.)* *sempre legato e cantabile* *p* *mp - p* *mf*

*ff - mf* *(smorz.)*

*div. a2* *sempre legato e cantabile* *pp* *mp - p*

*sempre legato e cantabile* *pp* *mp - p*

*p espr.* *(p)* *5*

*Red.*





**D** ♯ = 66ca.

36 *f* *mf cresc. poco a poco - ten.*

B.O.

*f* *gliss.* *mf cresc. poco a poco - ten.*

B.O.

*f* *gliss.* *mf cresc. poco a poco - ten.*

B.O.

*f* *gliss.* *mf cresc. poco a poco - ten.*

B.O.

*f* *gliss.* *mf cresc. poco a poco - ten.*

B.O.

*ff! espr.* *mf* *mp* *p* *mf* *f*

*Reo.*

39

.....(gradually Oh).....

.....(gradually Oh).....

.....(gradually Oh).....

.....(gradually Oh).....

.....(gradually Oh).....

.....(gradually Oh).....

*mp* *f!* *mf* *f* *8vb*

**E**

42 *ff*

Oh

*ff* *f*

Oh

*ff* *f*

Oh

*ff* *f*

Oh

*ff* *f*

Oh

*8va* *5* *mp* *ff* *f* *ff*

*8va* *8vb*



44 *cresc.* *ten.*

*cresc.*

*cresc.*

*cresc.*

*cresc.*

*cresc.*

*cresc.*

*8va* *sf* *sf* *(ad lib.)* *ffz!*

*f* *ff* *mf* *cresc.* *5* *ff*

*ff*

47 *fff* **F** ♩ = 48 ~ 54 (flexibly) *pp*

*dolce p!* *mf* M

B.O. (gradually B.F.)

*fff* *dolce p!* *mf*

B.O. (gradually B.F.)

*fff* *dolce p!* *mf*

B.O. (gradually B.F.)

*fff* *dolce p!* *mf*

B.O. (gradually B.F.)

*fff* *dolce p!* *mf*

B.O. (gradually B.F.)

*fff* *fffz* *gub.* (until 54)



## Ⅱ. 空の下

49 (solo) ※5

黙る そして、 静けさを集める ころの籠を、静けさでいっぱいにする 独りでいることが できなくてはできない

*pp sotto voce* M

*pp sotto voce* M

*pp sotto voce* M

*pp sotto voce* M

*pp sotto voce* M

*pp sotto voce* M

※5：十分に間を持ちながら、落ち着いた口調で詩を語る。



50 **H** *mp sosten.*

ひ と り で い る こ と が ー で き な く て は い け な い

*mp - p*

*mp - p*

*mp - p*

*mp - p*

*mp - p*

5/4 6/4 17/4

$\text{♩} = 60 \text{ca.}$

53 (smorz.)

(smorz.)

(smorz.)

(smorz.)

(smorz.)

*p ~ mp* *pp* *dolciss. e sempre sosten.*

5/4 8/4 17/4

poco accel. - - -

I

(sosten. - -)

molto!

54

*p espr.* *molto!*

ひとのかたることのできないー

*p sotto voce* *p espr.* *molto!*

しずけさのなかにはひとのかたることのできないー

*p espr.* *molto!*

ひとのかたることのできないー

*p espr.* *molto!*

ひとのかたることのできないー

*p espr.* *mp* *molto!*

*Ad.*

♩ = 69ca.

J ♩ = 72ca.

57

*f* *(p)* *p*

意味がーことばをもたないものが\*かたるー (Uh) \_\_\_\_\_

*f* *p*

意味ことばをもたないものが\*かたる (Uh) \_\_\_\_\_

*f* *mp* *mp*

意味意味があるーことばをもたないものが\*かたる

*f* *mp* *mp*

意味意味があるーことばをもたないものが\*かた

*f* *p* *mp*

*Ad.*



66

*p dolce*

く さ の 実 が ー か

*p dolce*

く さ の 実 が ー か た る ー

(sempre legato)

*pp dolce*

*poco* (loco→)

69

*mp dolce*

*mf*

か し の 木 の み き が か た る ー

*mp*

*mf*

た る ー

み き が か た る ー

*mp dolce*

*mp*

か し の 木 の み き が か た る ー

こ み ち が

*mp*

曲 が つ て ゆ く ー こ み ち が

*p*

*mp*

72

*mf* *poco f*

こみちが かたる まひる の かげが かたる — ジョウビタキが

こみちが かたる まひる の かげが かたる — ジョウビタキが

かたる — かたる — Uh ジョウビタキがかたる —

かたる — かたる — Uh ジョウビタキがかたる —

*mf* *poco f*

Red.

(♩=72ca.)

75

*mf* *cresc. poco a poco-*

かたる — ことばをもたないものらがかたる かたる かたる かた

かたる — ことばをもたないものらがかたる かたる かたる かた

*mf* *cresc. poco a poco-*

ことばをもたないものらが\*かたる — ことばをもたないものらがかた る かたる かたる

*mf* *cresc. poco a poco-*

ことばをもたないものらが\*かたる — ことばをもたないものらがかた る かたる かたる

*f* *poco f*

Red.

*sf*

**L** ♩ = 48 ~ 54 (flexibly)

[illegible]

※5 (solo)

独りでいることが

[illegible]

できなくてはできない

ゆっくりした時間を ここに作りだす

独りでいることが できなくては できない

(non dim.)

※6 : 語り後、あまり間を持たずにすぐに[N]へ入る。

87 [N] *poco allarg.* - - - *a tempo* *riten. molto* - - - ♩=72ca. *poco accel.* - - - *riten.* - - -

*pp* *mf* *f* *p*

B.O. B.O. B.O. B.O.

*p* *mf* *poco f* *p*

B.O. B.O. B.O. B.O.

*mp* *p* *poco f*

B.O. B.O. B.O.

*mp* *poco f*

B.O. B.O.

*espr.!* *(poco rubato)*

*p! sosten.* *poco f*

Red. ten.

♩ = 54ca. poco accel. - - - - - ♩ = 60~66

90

*mf* ひ と り で い る こ

*mp* ひ と り で い る こ と - (B.O.)

*p* ひ と り で い る こ と - (B.O.)

*p* ひ と り で い る こ と - (B.O.)

*p* *cresc. poco a poco*

*cresc. poco a poco*

*cresc. poco a poco*

*cresc. poco a poco*

*Ad. sempre*

93

*cresc. poco a poco (e marcato)* - - - - - *molto!*

と - (B.O.)

*(e marcato)* - - - - - *molto!*

B.O.

*(e marcato)* - - - - - *molto!*

B.O.

*(e marcato)* - - - - - *molto!*

B.O.

*molto!*



**P** **Risolto**[illegible]

99

か た る ー

き お く が か た る

か た る か た る か た る ー

そ ら の あ お さ

か た る ー か た る ー

そ ら の あ お さ

か た る か た る ー

き お く が か た る

6

mf cresc.



105

*mp* *fp*

なつかしいー ー ー 死者たちが かたる B.O. \_\_\_\_\_

なつかしいー ー ー 死者たちが かたる B.O. \_\_\_\_\_

なつかしいー ー ー 死者たちが かたる ー B.O. \_\_\_\_\_

なつかしいー ー ー 死者たちが かたる ー B.O. \_\_\_\_\_

*mp* *fp*

*molto!*

108

*(gradually con vibrato)* **Q** *ff!* *poco rit. - - (mf)*

*(gradually con vibrato)* *ff!* *f* *(mf)*

*(gradually con vibrato)* *ff!*

*(gradually con vibrato)* *ff!*

*ff!* *(until 113)*

*gub.*

♩ = 60 ca.

112 *p* (smorz.)

*p* (smorz.)

*dolciss. e sempre sosten.*  
*p ~ mp*  
*pp*

**R** (♩ = 60 ca.)

113 *div. a3 p*

*espr. mp*

*espr. mp*

*espr. mp*

*espr. mp*

*espr. mp*

*p!* *(mf) mp < mf > pp*

*And. sempre*

なにもものも けっ してー 無くなっ てしまわない ー ー

なにもものも けっ してー 無くなっ てしまわない ー

なにもものも けっ してー 無くなっ てしまわない ー

なにもものも けっ してー 無くなっ てしまわない ー ー

なにもものも けっ してー 無くなっ てしまわない ー

なにもものも けっ してー 無くなっ てしまわない ー

117 *poco f*

— (B.O.)

*mf*

この世は うつくしいと 言えない かもしれない

*mf*

この世は うつくしいと 言えない (B.O.)

*poco f*

— (B.O.)

*mf*

この世は うつくしいと 言えない かもしれない

*mf* *f* *pp* *mf* *pp* *mp* *poco f*

Red.

120

(smorz.) div. a2

(smorz.) *p*

しか し

(smorz.)

*sosten.*

*mf* *mf* *mp* *p*

S

123

*p* *mf*

し か し — — わ か ら な か っ た

*mp* *(mf)*

お さ な い と き は — — し か し

*p* *mp* *(mf)*

わ か ら な か っ た B.O.

*p* *mp* *(mf)*

お さ な い と き は お さ な い と き は —

*dolce!*

*mp*

Red.

*molto!* *ff (con moto)* *espr.!*

— — — この世には一ひとりでいることができて

*molto!* *ff (con moto)* *espr.!*

— し か し — この世には一ひとりでいることができて

*molto!* *ff (con moto)* *espr.!*

— し か し — この世には一ひとりでいることができて

*f* *f* *8va*

*mf* *f* *energico!* *ff* *poco f* *ff*

*8vb* *Red.* *8vb* *8vb*

130

**T** ♩ = 54~60 (flexibly)

*f-mp* *p*

は じ め て で き る こ と が あ る (B.O.)

*f-mp* *p*

は じ め て で き る こ と が あ る (B.O.)

*f-mp* *p* (smorz.)

は じ め て で き る こ と が あ る —

*f-mp* *p* (smorz.)

は じ め て で き る こ と が あ る —

*sf* 3 3

*f*

*p sosten. sempre*

\* *Red. sempre* *gub.*

134

*p sempre*

ひ と は

*p sempre*

ひ と は

*p sempre*

ひ と は —

*p sempre*

ひ と は — ひ と は

*gub.* *gub.*

138 (non cresc.)

ひ と は ー ひ と は ひ と は ー ー

(non cresc.)

ひ と は ー ひ と は ー

(non cresc.)

ひ と は ー ひ と は ひ と は ー ー

(non cresc.)

ー ひ と は ー ー ひ と は ー ー

dolciss.

mf (p)

U accel. - - - - - molto allarg. - - - - , ♩ = 48ca.

risoluto **p!** *rubato* **f** **fff** **mp**

142

い の る こ と が で き る の だ ー

risoluto **p!** *rubato* **f** **fff** **mp**

い の る こ と が で き る の だ ー

risoluto **p!** *rubato* **f** **fff** **mp**

い の る こ と が で き る の だ ー

risoluto **p!** *rubato* **f** **fff** **mp**

い の る こ と が で き る の だ ー

**sfz** **mp**

**sfz!** **f**

Red. until 149





“ひとは 祈ることができるのだ”

長田弘氏の《空の下》という詩は、こう結ばれている。呼吸をするようにこの詩を何度も声に出して読み、内観し、静かに祈った。

2011年3月に起きた未曾有の大震災。東京の自宅にいた私は幸いにも大きな被害を受けることはなかったが、テレビ中継で刻々と映し出されていく光景を目にしながら言葉を失い、ただ祈ることしかできなかった。日々、日常の様々な価値観が揺らぎに揺らぐ。作曲の原動力はいつの間にか消失し、それまでスケッチを続けていた別の詩による作品は温度を持たなくなった。私の中で、音楽はどこか遠いところにあったような気がする。

そんな中、文化会館で行われた東京混声合唱団の演奏会に足を運んだ。節電のために照明が落とされたホール、合唱団員と同数くらいかもしれない少ない観客、開演前に響く非常時の対応についてのアナウンス。この異様な空気の中、音楽はどんな空間を此处に生みだし、どんな時間が紡がれていくのか。私には全く想像もつかず、現実感の無い妙な心境だった。しかし、そこで聴いた音楽には何とも言えない‘温度’が宿り、指揮を振られている田中信昭先生の背中からは何か強烈な生命感が感じられ、会場はその空気に包まれ、私の中で言葉にならない感動が湧き起こった。

あの忘れられない演奏会の直前、私は図書館で一遍の詩に出会った。「祈ることしかできない」と思っていた私に、音楽とは無縁なところで救いをもたらしてくれた詩であり、私にとっては一筋の光であった。私は呼吸をするようにこの詩を何度も声に出して読み、内観し、静かに祈った。そしてそれが、あの演奏会での感動と結びつき、一つの大きな原動力・源泉となって、作曲を始めることとなった。

作品は混声合唱とピアノによる編成で、Ⅰ. Choral（ヴォカリーズによる旋律の集合体）／Ⅱ. 空の下（詩/長田弘）の二部から構成され、切れ目なく演奏される。曲の骨格や旋律感のはっきりとした音楽を書くことを主眼とし、詩に寄り添うようにして音を紡いだ。詩中に幾度と出てくるフレーズ「独りでいること」に始まり、時々その内向的な世界に回帰しながらも、やがてその先に祈りを見いだしていく大きなベクトルを、音楽で描きたいと思った。全体的な調性感や斉唱の多用については、詩と対峙する中で湧き起こった音楽的欲求によるものであるが、それが強い発言力と生命力を胎み、芯のある世界が立ち上がってくることを願いながら筆を進めた。

三宅悠太

●委嘱：「創る会」

●初演：指揮 田中信昭  
ピアノ 中嶋香  
合唱 第21回「創る会」合唱団  
(2011年9月10日 四谷区民ホール)

●改訂初演：指揮 田中信昭  
ピアノ 中嶋香  
合唱 東京混声合唱団  
(2012年3月22日 東京文化会館小ホール)